

One Step Pack Series



ワンステップパック

流動食の準備における時間の検証

監修 株式会社メディカルクリエイイト経営コンサルタント 田中 智恵子 先生

日本で初めて※1のキャップ付きパック『ワンステップパック』。ハサミを使わず簡単に開封できるなど、看護師を対象としたアンケート調査※2では**92%**の看護師が推奨したいと回答しました。(n=177)

今回は、実際に臨床の現場での流動食の準備をもとに、従来品と準備時間についての比較検証を行いました。流動食の開封から注ぎ入れるまでの時間を計測した結果、ワンステップパックは従来品と比較し、**30%**削減できることがわかりました。

※1 200ml流動食として(ネスレ調べ) ※2 2019年11月 看護・介護現場での労働環境に関する実態調査(ネスレ調べ)



ワンステップパックにより流動食の準備時間が
30%削減されました!

平均時間



【測定概要】 従来品とワンステップパックを各10-30パック開封し、容器へ注ぎ入れるまでのシミュレーション時間を測定。看護師・管理栄養士12名間の平均時間(ネスレ調べ)。

流動食準備にかかる時間を
180分とした場合(1日)(50名分)

30%削減できれば**54分**の時短に!

54分で何が出来る?

看護師なら...

食事全介助
約 **4** 名分

食事全介助15分として
(1名分)



看護師なら...

残業
約 **2** 名分

平均残業時間30分
(1日)※3



管理栄養士なら...

経口食の見回り
約 **2** 回分

見回り時間30分として
(1回)



※3 日本看護協会看護職員調査

ワンステップパックを従来品と比較したアンケート結果



使用したいと回答した理由

ハサミが不要でワンタッチで開封できるため
時間がかからない。

切り口を広げる必要がなく、片手で注げる。
注ぎ口が大きくて注ぎやすい。

開封時の異物混入防止になる。

ハサミが不要で清潔である。

コンパクトで持ちやすい。

従来品のように傾きや力加減で
切り口からこぼれる心配がない。



Q & A

Q どのように廃棄したらいいの？

A. 従来品と同様に折りたたみできます。
キャップはリサイクル可能な素材です。
廃棄の際は各自治体の区分に従い、適切に処分してください。

Q 簡単に開封できますか？

A. 中蓋はなく、軽い力で開けられる
ワンステップ仕様です。

interview

安全性、利便性、 医療経済効果の観点からもおすすめします。

医療介護現場では、組織を活性化させるために業務改善が必要です。そのためには、生産性向上、スタッフのモチベーション向上が重要と考えています。

今回、医療介護現場でのワンステップパックの安全性、利便性、医療経済効果を検討しました。現場の声として大きかったのは、安全性と利便性でした。何気なく使っている開封作業に用いるハサミは、実は感染リスクがあり、食の安全上、盲点ともいえます。ハサミを使わずに開封できることは大きなメリットといえます。流動食を選択する際には、①安全性、②利便性、③医療経済効果の3つの視点で検討することをおすすめしています。

私たちはつい、価格が安いものに目がいくかもしれません。しかし、価格が安い製品によって、手間がさらにかかったり、安全性に問題があるようでは意味がありません。適切な流動食選択により、残業時間が減り人件費削減に繋がる可能性など、トータルコストから考える医療経済効果が期待できます。ワンステップパックなどの流動食を活用し、組織の活性化をもたらす業務改善を推進していきましょう。



株式会社メディカルクリエイト
経営コンサルタント
田中 智恵子 先生